

令和 3 年度

# 体 育 情 報

第 6 4 号



岡山県小学校体育連盟  
岡山県小学校教育研究会体育部会

事務局 岡山市立御南小学校

# も く じ

|                          |          |    |
|--------------------------|----------|----|
| あいさつ                     | 会長 小川 泰永 | 1  |
| 令和2年度 事業報告               |          | 2  |
| 令和3年度 事業計画               |          | 7  |
| 令和3年度 研究の取り組み            |          | 10 |
| 水泳・陸上運動優秀児童表彰基準と表彰手続き    |          | 21 |
| 水泳・陸上運動記録会に係る提出書類の流れについて |          | 23 |
| 岡山県小学校体育連盟規約             |          | 24 |
| 岡山県小学校体育連盟表現専門部規定        |          | 26 |
| 岡山県小学校体育連盟役員選考にかかわる内規    |          | 27 |
| 岡山県小学校教育研究会体育部会規約        |          | 28 |
| 令和3年度 各種役員名簿             |          | 29 |
| 令和3年度版 「わたしたちの体育」集計表     |          | 32 |
| 令和3年度 岡山県小学校体育連盟 支部役員一覧表 |          | 33 |





## あいさつ

岡山県小学校教育研究会体育部会  
岡山県小学校体育連盟

会 長 小 川 泰 永

令和3年度も、本部会、本連盟の会長を務めさせていただくことになりました。先生方の変わらぬご支援を頂戴しながら、責務を全うしてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

令和元年度末からの新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年度は学校の臨時休業という未曾有の事態となりました。そして、令和3年度も5月16日から6月20日まで岡山県に緊急事態宣言が再度発令され、学校現場がコロナに翻弄されている状況が続いています。コロナ禍での学校行事が継続して求められ、マスク着用の中で、熱中症対策に考慮しながら、いかに友との関わりをもった学習ができるのか、各学校の先生方は日々悩みが尽きないことと推察いたします。

本部会、本連盟におきましても、コロナ対策を重視し、できる限り県小学校体育連盟の活動を停滞させないことを念頭に、リモートによる会議や研修会の実施に切り替えることを決断いたしました。

本部会、本連盟は、諸先輩方からの教えである「研究団体」であるという自覚と誇りをもって、これまで約60年にわたり体育の授業研究に取り組んでまいりました。令和2年度に多くの体育的行事や研修会を中止した中で、リモートによる研修会を開催したところ、我々の想定以上に活発な意見交換がなされ、県小体連に所属されておられる先生方の熱い思いとレベルの高さを実感したところです。

今までのような体育の授業研究を行うことはできない状況となっておりますが、リモートによる実践紹介や意見交換は十分可能であることも実証されました。昨年度までは、この状況を「県小体連のピンチ」と捉えていましたが、「postコロナ」に向けて、県小体連の活動が停滞することなく前に進んでいける可能性を大いに感じています。

新型コロナウイルス感染症が落ち着くまで、我々一人一人が体育の研究に対する思いを閉じず、対面での研修が実施できるようになった暁には、「こんな実践をやったんだけど、どう思う？」というフレーズで、これまでどおりの熱い体育の研修を対面で行いたいと考えています。

最後になりますが、未曾有のこの状況を打破した先には、本部会、本連盟という組織がより強固なものとなり、次の時代へと確かに受け継がれていくものと信じております。微力ではございますが、一生懸命務めてまいりますので、これからも、温かいご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

# 令和2年度 事業報告

## 1 各支部主催の体育研究会の助成

| 郡 市       | 学校名    | 期 日     | 研究内容および研究主題                                    |
|-----------|--------|---------|--|
| 岡 山       |        |         |  |
| 加 賀       |        |         |  |
| 備 前       |        |         |  |
| 赤 磐       |        |         |  |
| 和 気       | 和気・佐伯小 | R3.1.27 | 「共創していく中で、運動のおもしろさを感じ、追求していく児童の育成」<br>ボール運動 5年 |
| 瀬 戸 内     |        |         |  |
| 玉 野       |        |         |  |
| 倉敷(倉敷)    |        |         |  |
| 倉敷(児島)    | 倉敷・味野小 | R3.2.1  | 「自分のめあてをもち、ともに夢中になって活動し続ける子どもの育成」<br>保健 5年     |
| 倉敷(玉島)    |        |         |  |
| 倉敷(新見・真庭) |        |         |  |
| 浅 口       |        |         |  |
| 笠 岡       |        |         |  |
| 小 田       |        |         |  |
| 井 原       |        |         |  |
| 総 社       |        |         |  |
| 高 梁       |        |         |  |
| 新 見       |        |         |  |
| 津 山       |        |         |  |
| 苫 田       |        |         |  |
| 久 米       |        |         |  |
| 真 庭       |        |         |  |
| 美 作       |        |         |  |

2 各支部主催の実技講習会の助成

| 郡 市       | 内 容  | 郡 市 | 内 容 |
|-----------|------|-----|-----|
| 岡山(全市)    |      | 浅 口 |     |
| (北1・北2)   |      | 笠 岡 |     |
| (中・東)     |      | 小 田 |     |
| (南)       |      | 井 原 |     |
| 加 賀       |      | 総 社 |     |
| 備 前       |      | 高 梁 |     |
| 赤 磐       |      | 新 見 |     |
| 和 気       |      | 津 山 |     |
| 瀬 戸 内     |      | 苫 田 |     |
| 玉 野       | 陸上運動 | 久 米 |     |
| 倉敷(倉敷)    | 保健   | 真 庭 |     |
| 倉敷(児島)    |      | 美 作 |     |
| 倉敷(玉島)    |      | 勝 田 |     |
| 倉敷(総社・真備) |      | 英 田 |     |

### 3 優秀児童の表彰

| 郡 市    | 水 泳 | 陸 上 | 郡 市 | 水 泳 | 陸 上  |
|--------|-----|-----|-----|-----|------|
| 岡 山    |     | 357 | 高 梁 |     | 17   |
| 備 前    |     | 20  | 新 見 |     | 31   |
| 赤 磐    |     | 41  | 苫 山 |     | 12   |
| 和 気    |     | 17  | 久 米 |     | 7    |
| 瀬 戸 内  |     | 29  | 真 庭 | 16  | 37   |
| 玉 野    |     | 21  | 加 賀 |     | 10   |
| 倉敷(倉敷) |     | 398 | 美 作 |     | 31   |
| 倉敷(児島) |     | 39  | 津 山 |     | 69   |
| 倉敷(玉島) |     | 59  |     |     |      |
| 船穂・真備  |     | 29  |     |     |      |
| 浅 口    |     | 0   |     |     |      |
| 笠 岡    |     | 45  |     |     |      |
| 小 川    |     | 0   |     |     |      |
| 井 原    |     | 44  |     |     |      |
| 総 社    |     | 60  | 合 計 | 16  | 1373 |

- 4 「体育情報 第63号」の編集・発行  
県下各小学校に一冊配付
- 5 中・四国小体連誌「中・四国の体育 第49号」の配付予定（6月以降）  
県下各小学校に一冊配付
- 6 表現専門部主管による指導者研修会の開催  
・期日 令和2年7月30日（木） 【中止】  
・会場 岡山市立大野小学校体育館  
・講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 安江 美保 先生
- 7 研究会派遣補助  
◎第59回全国学校体育研究大会  
・期日 令和2年11月12日（木）→11月13日（金） 【紙面開催】  
・会場 フェニックスプラザ 福井市田原1丁目13番6号  
・派遣補助 優良校表彰校・功労者表彰者・事務局  
◎第58回中・四国小学校体育研究大会（広島大会）  
・期日 令和2年10月23日（金） 【紙面開催】  
・会場 広島市立観音小学校  
・派遣補助 発表者・発表補助者・指導助言者
- 8 副読本「わたしたちの体育」の編集と活用法の研究
- 9 研究部の活動  
① 研究部会  
・期日 令和2年5月28日（木） 【中止】  
・会場 ビュアリティまきび  
・内容 基本方針と研究計画、短期計画（年間計画）について  
令和2年度の活動方針と夏季研修会について 他  
② 夏季研修会  
・期日 令和2年8月21日（水）→22日（木） 【中止】  
・会場 ビュアリティまきび 他  
・内容 中四国大会分科会発表提案リハーサル及び協議  
各支部で授業づくり など  
③ 冬季研修会  
・期日 令和2年12月25日（水） 【オンライン開催】  
・会場 西川原プラザ 他  
・参加者 県内各支部の研究部員 他  
・内容 中四国大会分科会発表提案  
県小体連としての研究内容と進め方 など  
④ 各支部主催の研究会
- 10 地区別水泳陸上運動記録会の開催助成・記録会保険加入



## 11 令和2年度 小学校 地区別学童水泳・陸上運動記録会実施状況

|    | 支部名     | 水 泳 | 陸上運動    | 会 場              |
|----|---------|-----|---------|------------------|
| 1  | 岡山      | 中止  | 中止      | 市内各小学校           |
| 2  | 加賀      | 中止  | 10/15 木 | かもがわ総合運動公園       |
| 3  | 備前・和気   | 中止  | 10/15 木 | 備前市総合運動公園        |
| 4  | 赤磐      | 中止  | 中止      | 市内各小学校           |
| 5  | 瀬戸内     | 中止  | 中止      | 市内各小学校           |
| 6  | 玉野      | 中止  | 中止      | 市内各小学校           |
| 7  | 倉敷(倉)   | 中止  | 中止      | 市内各小学校           |
| 8  | 倉敷(児)   | 中止  | 中止      | 市内各小学校           |
| 9  | 倉敷(玉)   | 中止  | 中止      | 倉敷運動公園陸上競技場      |
| 10 | 倉敷(船・真) | 中止  | 中止      |                  |
| 11 | 浅口      | 中止  | 中止      |                  |
| 12 | 笠岡      | 中止  | 中止      | 市内各小学校           |
| 13 | 小田      | 中止  | 中止      |                  |
| 14 | 井原      | 中止  | 中止      | 市内各小学校           |
| 15 | 総社      | 中止  | 中止      | 市内各小学校           |
| 16 | 高梁      | 中止  | 10/13 火 | 神原スポーツ公園多目的グラウンド |
| 17 | 新見      | 中止  | 10/21 水 | 新見市防災公園陸上競技場     |
| 18 | 津山      | 中止  | 中止      |                  |
| 19 | 苫田      | 中止  | 中止      |                  |
| 20 | 久米      | 中止  | 10/06 火 | 久米南町総合運動公園       |
| 21 | 真庭      | 中止  | 10/07 水 | 真庭市立遷喬小学校        |
| 22 | 美・勝・英   | 中止  | 中止      | 市内各小学校           |

# 令和3年度 事業計画

## 1 各支部主催の体育研究会・実技講習会の助成

### ① 研究会助成対象

授業を伴う支部小体連が主催の研究会であること

◎ 助成額 1回の研究会について 20,000円

◎ 助成回数 制限はしない

### ② 実技講習会助成対象

実技を伴う支部小体連が主催の講習会であること

◎ 助成額 1回の講習会について 10,000円

◎ 助成回数 各支部3回以内・毎年、特定の領域や講師に偏らないこととする。

(学校数等から、岡山は5支部、倉敷は4支部扱いとする。)

※表現領域(県表現伝達講習)については毎年申請してもよい。

### ③ 助成手続きに必要な申請

★ 令和3年度よりHPで申請予定

#### 【申請項目】

#### 「研究会助成金申請」

- ① 支部名
- ② 理事長氏名
- ③ 申請担当者学校名
- ④ 申請担当者氏名
- ⑤ 申請担当者メールアドレス
- ⑥ 開催期日
- ⑦ 研究会場
- ⑧ 研究主題
- ⑨ 公開領域
- ⑩ 単元名
- ⑪ 学年
- ⑫ 参加人数

#### 「実技講習会助成金申請」

- ① 支部名
- ② 理事長氏名
- ③ 申請担当者学校名
- ④ 申請担当者氏名
- ⑤ 申請担当者メールアドレス
- ⑥ 開催期日
- ⑦ 講習会場
- ⑧ 講習領域
- ⑨ 講師
- ⑩ 参加人数

### ◎ 問い合わせ先

〒701-0153

岡山市北区庭瀬256 岡山市立吉備小学校内

岡山県小学校体育連盟 西田真悟

- 2 水泳・陸上運動の優秀児童の表彰
- 3 「体育情報 第64号」の編集・発行  
県下各小学校に一冊配付
- 4 中・四国小体連誌「中・四国の体育 第50号」の配付  
県下各小学校に一冊配付
- 5 表現専門部主管による指導者研修会の開催
- ・期 日 令和3年7月29日(木)
  - ・会 場 岡田武道館主道場 【オンライン開催】
  - ・主 題 未定
  - ・講 師 ノートルダム清心女子大学 准教授 安江 美保 先生
- 6 研究会派遣補助
- ◎ 第60回 全国学校体育研究大会
    - ・期 日 令和3年11月11日(木)～12日(金) 【紙面開催】
    - ・会 場 愛媛県県民文化会館メインホール 松山市道後町2丁目5-1
    - ・派遣補助 優良校表彰校, 功労者表彰者, 事務局
  - ◎ 第59回 中・四国小学校体育研究大会(高知大会)
    - ・期 日 令和3年10月29日(金)
    - ・会 場 高知市立土津小学校
    - ・派遣補助 発表者, 発表補助者, 指導助言者, 事務局
- 7 副読本「わたしたちの体育」の編集と活用法の研究
- 8 研究部の活動
- ① 研究部会
    - ・期 日 令和3年6月24日(木)
    - ・会 場 オンライン開催
    - ・内 容 研究授業, 基本方針と研究計画について  
令和3年度の活動方針と夏季研修会について 他
  - ② 夏季研修会
    - ・期 日 令和3年8月4日(水)
    - ・会 場 オンライン開催
    - ・内 容 検討中
  - ③ 冬季研修会
    - ・期 日 令和4年1月13日(木)
    - ・会 場 オンライン開催
    - ・内 容 検討中
  - ④ 各支部主催の研究会
- 9 地区別水泳・陸上運動記録会の開催助成・記録会保険加入

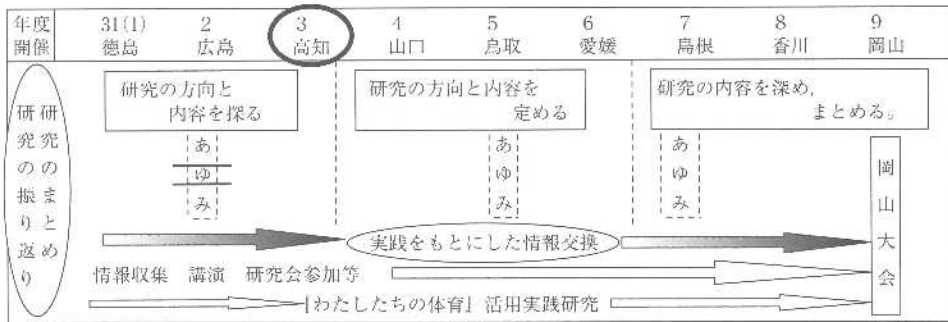


# 令和3年度 研究の取り組み

## 1 基本方針

- 県小体連が提案した研究主題や視点に基づいて、各支部の研究テーマを設定する。そして、授業提案をもとに、研究内容を深めていく。
- 県内各支部の情報交換を今まで以上に活性化し、体育授業のレベルアップを図る。
- 体育科の学習の在り方・体育授業の進め方などについて全国的な視野での情報収集を図り、研究実践に反映させる。
- 「わたしたちの体育」の活用事例研究を進める。

## 2 長期研究計画



※令和2年度に予定した「研究のあゆみ」は作成しない。

## 3 中四国大会での岡山県としての分科会提案の今後の順番

・中・四国大会での分科会提案の順番



※提案数の原則は、  
中国地方開催の時は2提案  
四国地方開催の時は1提案

岡山市：岡山支部  
倉敷市：倉敷支部

Aブロック：赤磐、瀬戸内、玉野、和気・備前、加賀  
Bブロック：浅口、笠岡、小田、井原、総社、高梁、新見  
Cブロック：津山、真庭、苫田、久米、美作・勝田・英田

| 年 度    | R1           | R2                    | R3   | R4                 | R5         | R6          | R7   | R8           |
|--------|--------------|-----------------------|------|--------------------|------------|-------------|------|--------------|
| 大 会 県  | 徳 島          | 広 島                   | 高 知  | 山 口                | 鳥 取        | 愛 媛         | 島 根  | 香 川          |
| 分科会提案数 | 1            | 2                     | 1    | 2                  | 2          | 1           | 1    | 1            |
| ブロック   | 倉 敷 市        | C：津山<br>岡山市           | B：井原 | A和気・備前<br>倉敷市・児島支部 | C岡山市       | B           | A    | 倉敷市          |
| 提案領域名  | 器械・器具<br>(低) | 体ほぐし<br>器械運動<br>(中・高) | 表現運動 | ボール運動<br>保健        | 陸上運動<br>水泳 | 走・跳動<br>の運動 | 体づくり | ゲーム<br>(低・中) |

- ◎令和2年度 広島大会 体ほぐし運動：Cブロック（真庭支部）  
器械運動（中・高）：岡山市（岡山支部）
- ◎令和3年度 高知大会 表現運動：Bブロック（井原支部）
- ◎令和4年度 山口大会 ボール運動：Aブロック（和気・備前支部）  
保健：倉敷市（児島支部）
- ◎令和5年度 鳥取大会 陸上運動：Cブロック（苫田・久米支部）  
水泳：岡山市（岡山支部）

## 4 令和3年度 研究主題

運動領域：運動に挑戦し続ける子供の育成  
保健領域：健康に関わる課題を探究し、社会とつながる子供の育成

## 器械運動

課題に向き合いながら 身に付けた力を活用し続ける 岡山っ子の育成  
～子どもが夢中になって遊び続ける「鉄棒運動」の学習を目指して～

岡山県岡山市立三門小学校 森岡 大輔

### 1 研究テーマについて

今までの鉄棒運動の授業をふり返ると、逆上がりや後方支持回転などの技の習得のみを目指した授業が行われることで、「できる」「できない」が明確となり、子どもの意欲の低下によって活動の停滞がうまれていた。その結果として、高学年になるにつれて「鉄棒嫌い」が増えてくるといった現状もみられるようになったのではないだろうか。

そこで本研究では、「鉄棒で遊ぶこと」を大切にした授業づくりを目指した。「上がれるかな。」「○○できるかな。(※○○には「止まる」「ゆれる」「回る」等の動きが入る。)」 「下りられるかな。」という課題に向かって、子どもの自由な発想で様々な動きに挑戦したり友達とかかわったりすることで、子どもの意欲が持続し、どの子も夢中になって鉄棒運動に取り組むことができるのではないだろうか。さらに子どもの様相を見取り、手立てを講じていくことで、どの子どもも鉄棒で遊び続けることのできる学習になり、「鉄棒好き」な子どもが増えてくると考えた。そのような学習を展開することで、新学習指導要領で示されている「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3観点で示されている力も結果的に身に付けていくと考えた。

### 2 研究の実際

(1) 単元名 「夢中 熟中 鉄棒中! 遊棒 学棒 Let's棒!!」 - 3学年 -

(2) 単元目標

「鉄棒で、上がったり、○○したり、下りたりすることができるかどうか。」に向かって、やってみたい動きを選んだり友達とかかわったりしながら、知識及び技能を身に付け、鉄棒運動に親しみ続けることができる。

(3) 単元の構想

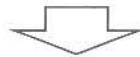
#### 【「鉄棒で遊ぶこと」の捉え方】

「鉄棒で、上がったり、○○したり、下りたりすることができるかどうか。」という出来事に向かって、子どもの自由な発想を大切にしながら、様々な動きに挑戦したり友達とかかわったりすること。

#### 【子どもの実態】

低学年の「固定施設を使った運動遊び」「鉄棒を使った運動遊び」では、教師が提示した遊びに挑戦しながら楽しむ学習を経験してきている。

3学年では、陸上や水泳の学習において、単元を通した課題を共有し最後まで意識しながら学習していく中で、主に個々でその運動のおもしろさを味わっていく学習を経験してきている。



挑戦課題 鉄棒で、上がったり、○○したり、下りたりすることができるかどうか。

問い① どんな「止まり方」ができるかな?

問い② どんな「上がり方」や「下り方」ができるかな?

問い③ どんな「回り方」ができるかな?

問い④ どのように「上がったり」「○○したり」「下りたり」することができるかな?

かな」とやってみたい技を選んだり、友達と教え合ったりする姿が多く見られるようになってきた。

様々な回り方を追求していく中で、「上がり方」から「下り方」までの構成を試して遊ぶ子どもの姿が見られるようになってきた。このような様相を見取り、「上がり方」から「下り方」までの動きの構成に目が向くように新しく「どのように『上がったたり』『〇〇したり』『下りたり』することができるかな？」と問い④を共有していった。

#### 問い④「どのように『上がったたり』『〇〇したり』『下りたり』することができるかな？」(8・9時)

これまでは、「上がり方」「下り方」「回り方」など、自分がやってみよう技ができるようになることを喜ぶ姿が多かった。その中で、上がって下りまでの一連の動き方に興味をもった子どもたちは、鉄棒に上がって、鉄棒の上で何度も回ってから下りるよ、「逆上がりで上がって、ひざかけ後ろ回りをして、前回り下りをしよう」と今までの学習を活かしてできるようになった技を組み合わせる遊びを楽しむようになった。その一方で終始自分の追求したい技に固執して挑戦し続ける子どもも多く見られた。



### 3 成果と課題

#### 【成果】

単元を通して、どの子ども達も自分なりのできたを積み重ねながら、用具や友達とかかわりながら遊び続けることができた。また、休み時間にも多くの子どもが意欲的に鉄棒で遊ぶことを楽しむ姿が見られた。これらは技の習得のみを目指すのではなく「鉄棒で遊ぶこと」を大切にし、子どもの様相を見取りながら以下のような手立てを講じていった成果である。

#### ○ 運動との出会わせ方の工夫

はじめから「技」を提示して始めるのではなく、子ども達が自由な発想をすることができる「どんな『止まり方』ができるかな？」と問うことから始めたので、様々な動きに挑戦したり、友達とかかわったりする姿が見られ、どの子どもも鉄棒で遊び続けるきっかけになったと考える。

#### ○ 「問い」の工夫

1時間ごとに新しい問いを提示するのではなく、子ども達が遊んでいる様相を見取りながら問いを変容させたことで、単元を通して遊び続けることに繋がった。子ども達の遊びが変化していたり、停滞していたりした時に、子どもが何に夢中になっているかを見取ることが重要であったと考える。

#### ○ 問いだけでは補いきれない「発問」の工夫

子どもたちの遊びが停滞した時に、発問によって新しい遊びの視点を与えたり、友達との関わりを促したりすることで、子どもの遊びに向かう意欲が高まり遊び続けることができた。

#### ○ 場や用具の工夫

子どもがケンステップやロープを工夫し遊びを変化させていくことで、夢中になってできるかどうかを追求しながら動きの高まりや広がりにつなげることができたと考えた。

#### ○ 感覚づくりのゲームの工夫

前時に見取った様相から子ども達に必要な感覚づくりをゲームとして次時の導入で取り入れることで、楽しく必要な感覚を養い、抵抗感なく遊ぶことに繋がった。

#### 【課題】

単元構想の段階では、単元後半になるにつれて「組み合わせること」におもしろさを感じるのではないかと考え、「問い④」を設定していた。しかし、一つの難しい技に何度も取り組んだり、一つの技が何回繰り返してできるかに挑戦したりすることを追求していく子どもが多かった。このような子どもの姿から鉄棒運動の入り口である3年生にとって全員が「組み合わせること」に重きを置くことは難しかったと感じた。今後「組み合わせ」においても遊び続けるためには、友達とかかわりをきっかけにして、動きをそろえて構成を楽しんだり、紹介し合ったりするなどの手立てを講じていくことも有効ではないかと考える。

止まり方を試し始めた。はじめは苦手意識があった子どもも、近くで遊んでいる友達の動きに触発されて、つばめでの支持やぶらさがって止まることを楽しみ始めた。また、友達と動きをそろえて止まったり、止まったままじゃんけんしたりしている子どもを紹介することで、子どもたちの遊びが広がっていった。いろいろな止まり方を試していく中で痛みを口にする子どもが出てきたので、痛みを軽減できるように補助パッドや膝サポーターの紹介をした。すると、自分に必要な補助具を選んだ上で、やりたい動きに挑戦する様子が見られた。

子どもと様々な「止まり方」を共有し、再度試したり新しい「止まり方」を考えたりしながらひとしきり遊んだ後、「長く止まったり、楽に止まったりするにはどうしたらいいかな？」と発問すると「握り方を工夫したら長く止まれそうだよ。」「腰の下の辺りを鉄棒にかけると楽に止まれたよ。」と、鉄棒の握り方や体の使い方について目を向けた発言が出てきた。子どもが見つけたポイントは体の「カギ」と呼んで共有し再度試すことで、長く止まったり楽に止まったりする実感をもてていた。さらに、揺れたり振ったりしながら遊んでいる子どもを紹介することで、つばめやふとん干しの姿勢から足を振ったり、こうもりの姿勢からこうもり下りをしたりするなど動きに広がりが見られるようになった。



子どもが「止まり方」という遊びから、揺れたり振ったりする遊びに変化した様子を見取り、「止まる前や後はどんなことしているの？」と聞くと、「鉄棒の上にジャンプして上がったよ。」「くるっと回って下りたよ。」などの反応が返ってきたので、「どんな『上がり方』や『下り方』があるかな？」と、**問い②**を共有していった。

### 問い②「どんな『上がり方』や『下り方』ができるかな？」(3・4時)

「上がり方」や「下り方」に興味をもった子どもたちは、「こんな位置からでもとび上がることができたよ。」「友達とそろえて上がったよ。」「鉄棒に座った後、後ろに回って下りたよ。」「より遠くに下りられるか競争したよ。」など意欲的に遊ぶ姿が見られた。中には、タイミングをそろえて前に回って下りる遊びを楽しんでいる子ども達がいたので、ロープを鉄棒の下に置くことを紹介し、「このロープよりも後ろに下りることができるかな？」と発問した。すると、「なかなか手前に下りれんなあ。もう少し勢いつけた方がいいかな。」「〇〇さん、どうやったらできるか教えて。」と、体の動かし方を工夫したり友達とのかかわりを広げたりしながらより夢中になって遊ぶ子どもの姿が見られた。子どもたちが考えた動きから「前回り下り」「逆上がり」など、すでに名前がついているものは共有した。



「逆上がりでも上がってみたい。」と言った子がいたので、くるりんベルトや柔道の帯などの用具の使い方を説明した。「初めて上がった!!」「〇〇くん、すごい！僕にもかして！」と用具を使った遊びがクラス全体に広がっていった。また、「別の上がり方や下り方はないかなあ。」と言っている子どもたちに対して、「膝掛け振り上がり」や「転向前下り」という新しい上がり方や下り方を紹介し、一緒にやってみようという姿が見られた。



上がったたり下りたりする遊びを続ける中で、「空中逆上がりがしたい。」「空中前回りをやってみよう。などと、鉄棒の上で遊ぼうとしている子が増えてきた様子を見取り、「どうしたら鉄棒の上で回れるの？」と発問した。すると、「勢いをつけたらできそう。」「前に回ってもできそう。」などの反応が返ってきたので、「回り方」に目が向くように新しく「どんな『回り方』ができるかな？」と**問い③**を共有していった。

### 問い③「どんな『回り方』ができるかな？」(5～7時)

「回り方」に興味をもった子どもたちは、鉄棒の上でどんな回り方ができるか考えながら遊んでいた。空中逆上がりができるように回ったり、鉄棒に座った状態で後ろに回ったり、ぶら下がった状態で回ったりと、自分なりの回り方を追求する姿が見られた。

同じ回り方で繰り返し遊び続けている子どもたちに対しては、「2人でそろえることができるかな。」「人数を増やしてずらすことができるかな。」などと友達とのかかわりを広げる発問をすることで遊びが広がった。また、技の動画をいつでも見られるようにし、視覚的に動きのイメージをもったり、遊んでみたい意欲を促したりすることができるようにした。すると、「こんな動きもやってみよう」「この技でもそろえられる



|            | 1・2  | 3・4  | 5・6・7  | 8・9   |
|------------|--|--|--|---|
| 学習の展開と学習活動 | <p><b>【挑戦課題】</b></p> <p>鉄棒で、上がったり、〇〇したり、下りたりすることができるかどうか。</p> <p>1 鉄棒運動に向けての準備運動をする。<br/>2 鉄棒をする上での約束を知り、やってみる。</p> <p>鉄棒でおもいきり遊んでみよう！</p> <p>3 問いを知り、自分のめあてをもつ</p> <p>どんな「止まり方」ができるかな？</p> <p><b>【止まり方の例】</b><br/>・つばめ ・豚の丸焼き ・こうもり<br/>・ふとん下し ・片ひざをかけて ・すわって など</p> <p>4 やってみる</p> <p>地面に足をつけたまま止まることができたよ</p> <p>逆さになったり、ひざをかけたりに止まったよ</p> <p>・止まった後、動いてもいいよ<br/>・もっと長く止まることができるかな？</p> <p>こうもりで友達とじゃんけんをしたよ</p> <p>つばめをして、左右に動くことができたよ</p> <p>5 振り返る<br/>挑戦課題を共有する。</p> <p>止まる「前」や「後」って、どんなことをしてる？</p> | <p><b>【主な授業の流れ】</b></p> <p>1 感覚づくりのゲームをする。<br/>2 問いを知り、自分のめあてをもつ<br/>3 やってみる<br/>4 やってみたこと、見つけた動きやコツについて共有する（教えるべき内容は指導する。例：技の名前や意味など）<br/>5 やってみる<br/>6 振り返る</p> <p>感覚づくりのゲーム<br/>・だんごむし競争 ・上って下りるゲーム など</p> <p>どんな「上がり方」や「下り方」ができる</p> <p>つばめから、いきおいをつけて後ろへとんでみた</p> <p>ぶらさがって、ゆれてみたよ</p> <p>連続でできるかな？</p> <p>さかあがりをした後、転向前下りをしてみた</p> <p>「前回り下り」は、『鉄棒の手前に』戻れるといいね！</p> <p>ロープを置いてやってみただけど、手前まで後少しだった！</p> <p>上がったり下りたりする以外にどんなことがしたい？</p> | <p>感覚づくりのゲーム<br/>・ふとんほしゲーム ・つばめ→ふとんほし など</p> <p>どんな「回り方」ができるかな？</p> <p>膝をかけて鉄棒の上で回れたよ</p> <p>補助員を使って、空中でさかあがりできたよ</p> <p>空中でさかあがりをするのは「後方支持回転」って名前があるんだね。友達とそろえて一緒にできるかな？</p> <p>体をふるタイミングをそろえてやってみよう。</p> <p>かかえ込み回りって、どうやったらできるの？</p> <p>かかえ込み回りは、いきおいをつけて回転するといいわ。頭が下になるタイミングでもものを裏をもったらできるよ。</p> <p>今までやってきたことを組み合わせてもできるかな？</p> | <p>感覚づくりのゲーム<br/>・上って下りるゲーム ・つばめ→ふとんほし など</p> <p>どのように「上がったり」「〇〇したり」「下りたり」できる</p> <p>友達と動きを合わせて、今までやった技を組み合わせてやってみたよ</p> <p>補助員がなくても、さかあがりできたよ</p> <p>補助員を使って、後方支持回転を連続でしたよ</p> <p>さかあがり→ひざかけ前回り→転向前下りの順番ですることができたよ</p> <p>〇〇な技（こと）を加えてもできるか</p> <p>さかあがりした後につばめで止まったりゆれたりしてみた後、前回り下りをしたよ</p> <p>目線を遠くにすると、回転がはやくなったよ</p> |
|            | 遊び続けるために   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇秒、はやく、ゆっくり【時間】</li> <li>・〇回、連続で【回数】</li> <li>・さかさでも、足をかけても、手を交差しても、など【体】</li> <li>・同時に、ずらして、遊んで（じゃんけん、にらめっこなど）【友達と】</li> <li>・補助具（補助パッド、膝サポーターなど）を使って</li> <li>・動き（技）と動き（技）をつなげて</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロープを置いて【道具】</li> <li>・補助具（くるりんベルト、タオル、柔道着などで使う帯、サッカーボールなど）や補助台を使って</li> <li>・ポイントが整理された、技カード（技ごとに1枚ずつあるもの）の掲示</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・（グループ）の友達との教え合い</li> <li>・お手本の映像を見て</li> <li>・今まで積み重ねてきた技が、系統や難易度で分けられている技カード（表にまとめたもの）の掲示</li> </ul>   |
| 主な教師の支援    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの実態を見取りながら、行っている動きを称揚したり、条件を加えてよりおもしろくなるようにしたりする。</li> <li>・「痛み」や「怖さ」を軽減できるように<br/>→マットや補助パッドなどを準備する<br/>→「カギ（掌、骨盤下など）」について教えることで、支持を楽にしたり軸の意識をもちやすくしたりする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「上がり方」「止まり方」「下り方」を組み合わせても良いとすることで、挑戦したい意欲をもてるようにする。</li> <li>・必要に応じて、道具や補助具を示すことで、「上がり方」「止まり方」「下り方」を行いやすくする。<br/>例）逆上がり→帯、くるりんベルト、補助台、友達と前回り下り→ロープ など</li> <li>・子どもが見つけた動きに対して、技の名前や意味を共有する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・技カードなどを示したり、映像を見せたりすることで「回り方」のイメージをもって取り組むことができるようにする。</li> <li>・補助具の使い方や意味、補助の仕方を教えることで、技をしやすくする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「上がり方」「〇〇する（止まる、動く、回る）」「下り方」を組み合わせたり、条件を加えたりしていくようにすることで、挑戦してみたい意欲をもたせるようにする。</li> <li>・子どものつまづきを見取り、必要なポイントを伝えることで、やりたい技ができるようにする。</li> </ul>  |

#### (4) 研究の視点

夢中になって遊び続けるために！

子どもの自由な発想を大切に、子どもの様相を見取りながら、手立てを講じていく

##### ○ 運動との出会わせ方の工夫

低学年とのつながりを考慮し、「鉄棒で遊ぶ」ことを単元を通して大切にしたい。そこで、どの子にとっても取り組み易く、自由な発想で活動できるように「どんな『止まり方』ができるかな？」という問いから遊びを促す。そうすることで、多様な発想で活動に取り組み、自分なりの「できた」が生まれ、「鉄棒で遊ぶこと」の共有が図れると考えた。このことで「技ができるかどうか」で自己評価するのではなく、自分の発想で活動することそのものに価値を置くことができると考えた。

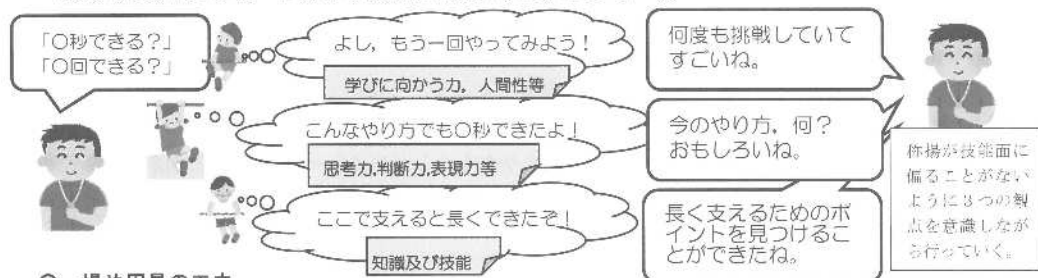
##### ○ 「問い」の工夫

「止まり方」から始まり、「上がり方」「下り方」「回り方」へと問いを変容させていくことが、どの子どもにとっても自由な発想で遊ぶことができる展開になると考えた。問いの変容に合わせて、自分なりの「できた」を積み重ねた子どもたちは、組み合わせ方にも目を向け単元を通して鉄棒で遊び続けることができると考えた。

子どもの遊びの変化や発想の停滞が見られたら、新たな問いをきっかけにして子どもの主体的な遊びが持続するようにしていく。

##### ○ 問いだけでは補いきれない「発問」の工夫

上記の問いに合わせて、様々な動きに繋がる発問や友達とのかかわりを促す発問をしていく。「〇秒できる？」「〇回できる？」(時間や回数)、「同時にできる？」「ずらしてできる？」(友達とのかかわり)、「どうやったらそんなに上手くできたの？」(体の動かし方)などの発問により、遊びの中で結果的に身に付けるべき力の3観点にも繋がるようにしていく。



##### ○ 場や用具の工夫

恐怖感や痛みによって遊びが停滞することがないように、鉄棒の下にマットを敷いたり、膝のサポーターや補助パットを適宜紹介したりする。また、遊びの多様性を引き出すために、ロープやケンステップなどを準備し、子どもが自由に使えるようにする。

##### ○ 感覚づくりのゲームの工夫

鉄棒でぶら下がったり回転したりすることに対する怖さや苦手意識によって、遊びが停滞しないように、各授業の導入に意図的に感覚づくりの運動を取り入れる。「上がって下りる動き」や「ふとんほし」などを一斉にゲームとして行うことで、楽しく必要な感覚を養うことができるようにするとともに、動きのアドバイスが子ども同士で自然に生まれると考えた。

#### (5) 学習における学びの姿 (全9時)

##### 問い①「どんな『止まり方』ができるかな？」(1・2時)

はじめに、「鉄棒で遊んでおいで！」と言うと、子どもたちは低学年までの学びを生かし、思い思いの動きをしていた。鉄棒に足をかけてぶら下がったり、逆上がりや回転をしたりする姿も見られた。一方で苦手意識があるのか、鉄棒をもってたたずんでいる子どももいた。

想定していた通り鉄棒運動に対して、技能や意欲の面での差が多くあると感じたので、どの子も自由な発想で取り組むことができるように「止まり方」から授業を展開していくことにした。鉄棒にぶら下がって止まったり、支持して止まったりしている様子を紹介した後、最初の問いである「どんな『止まり方』ができるかな？」という問いを共有し、遊びを促した。

すると、鉄棒の上に座ったり、こうもりやふとん干しの状態で止まったりするなど、自由な発想で多様な



## 課題に向き合いながら 身に付けたい力を活用し続ける 岡山っ子の育成

～気付きを広げる・深める 体ほぐしの運動～

真庭市立木山小学校 清友 啓介

### 1 研究のテーマについて

真庭支部は岡山県の北部に位置し、21校中11校が複式・異学年合同体育を行っている小規模校の多い地域である。このため家庭・地域環境などの要因から運動する機会に差が生じてきている。こういった実態から、学校での体育の果たす役割は大きい。真庭市の多くの児童は体育を「楽しい」「やや楽しい」と答えている。一方で、「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答する児童が男子6.7%、女子8.9%いることも事実である。(令和元年度全国体力・運動能力、運動週間等調査結果より)この結果から、運動の得意・不得意、また技能に関わらずまずは運動の楽しさや心地よさに気付いたりすることが大切だと考えた。そこで、全学年で指導し、手軽な運動を通して、自己の心と体の変化(関係)に気付くとともに仲間と交流し、運動が好きになることを目指している体ほぐしの運動に重点をおいて研究を進めた。

体ほぐしの運動では、様々な気付きが生じる。気付きを引き出し、共有することで自分と同じまたは違うという多様性に気付けるようにする(気付きを広げる)。そして、多様に引き出した気付きを整理し、比べたり、関係付けたりすることで、新しい運動の側面を知り、楽しさや心地よさを実感できるようにする(気付きを深める)。そのために、「リズムカル」や「ゆったり」した運動を行い、運動の前後でどんな心と体の変化があるかや、「グループ」で行う運動を通して、仲間と交流し関係の深まりを感じるように展開してはどうかと考えた。この自己と向き合い、仲間と関わることで生じる気付きに目を向け、より広げ、深めるために実践を通して研究を進めている。

### 2 研究の実際

- (1) **単元名** 体ほぐしの運動「『リズムカル』『ゆったり』『グループ』のほぐしを楽しもう」
- (2) **単元目標** 「『リズムカル』『ゆったり』『グループ』のほぐしを楽しもう」という課題を知り、手軽な運動を通して、自己や友達のと心と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。

#### (3) 単元の構想

【運動のおもしろさの捉え方】

運動や友達との関わりに変化があることで、自己や友達の心や体の変化に気付くことができる。友達と関わりながら縄を使って移動したり障害を乗り越えたりすることで、協力して進んでいく楽しさや友達と関わる喜びを味わうことができる。

【児童の実態】

在籍数21名(4年男子7名 女子14名)は運動に積極的に取り組む児童が多い。一方で、友達と支え助け合うような運動経験は少ない。手軽な運動やストレッチなどの経験はあるものの、体ほぐしの学習を単元を組んで行うのは初めてである。

単元を貫く課題 『リズムカル』『ゆったり』『グループ』のほぐしを楽しむことができるかどうか

①リズムカル ②ゆったり ③グループのほぐしを通して、心や体、仲間との関係の変化に気付こう。

|   | 1時                          | 2時                              | 3時   |
|---|-----------------------------|---------------------------------|--|
| ① | ペアダンスをする。<br>1人で新聞輪キャッチをする。 | ダンスをする。(3~4人)<br>ペアで新聞輪キャッチをする。 | ダンスをする。(5~6人)<br>班で新聞輪キャッチをする。             |
| ② | ペアでストレッチやマッサージを行う。          | ペアでストレッチやマッサージを行う。(ペアを変える)      | ペアでストレッチやマッサージを行う。(ペアを変える)                 |
| ③ | グループで2本の縄の輪を使って移動する運動をする。   | 1時をもとに、用具(障害物)を加え、乗り越えて進む運動をする。 | 2時の用具をつなげてコースにし、乗り越えて進む運動をする。(後半、グループを変える) |

#### (4) 研究の視点

##### ①単元構成の工夫

##### ○単元として行う工夫

これまで体ほぐしの運動は、準備運動や導入時を利用した帯のような学習に留まりがちであった。そのため気付きが広がったり深まったりすることは不十分であった。そこで、単元として組み、授業を通して気付いたことを繋げていくことで、より広がったり深まったりすると考えた。

##### ○授業の展開の工夫

今までは「心と体の変化」または「仲間との交流」のどちらかを単発授業で行うことや「仲間との交流」のみを単元で実施することはあった。しかし、両者を前後半の1単位時間に組み込み、展開することで、体ほぐしの運動のどちらも大切にでき、心や体、そして仲間との気付きを関連付けて運動の良さを味わえるようにする。また、リズムカルとゆったりの両方のほぐしを位置づけることで、「動の解放(楽しい)」と「静のリラックス」といった違いに目を向けやすくする。



##### ②夢中で活動し続ける工夫

同じ展開、内容の授業では飽きてしまう。また、それでは新たな気付きも生まれにくい。そこで、1時の内容を次時では少し変え、授業を展開する。〔単元の構想〕参考) また、以下の工夫を行い、児童が夢中で活動し続けるように工夫した。



4～5人が入れる輪。縄のため、形状が変わったり、うまく投げられずグニャッとしたりするのも楽しい。

##### ○用具と場の工夫

##### ・募団気づくりの工夫

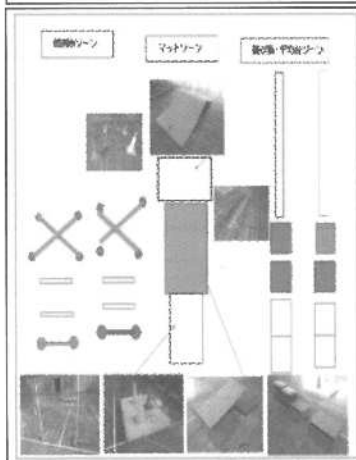
リズムカルなほぐしではリズムに乗れる軽快な曲、ゆったりしたほぐしでは聞き馴染みのあるリラックスした曲を流す。グループのほぐしの際も、明るく軽快な曲をかけ、楽しめる募団気づくりを行う。

##### ・用具の工夫

グループのほぐしの際は、縄でできた2本の輪を用いた。(右写真) 手軽な運動で技能は問わず、必然的に児童同士の距離が近くなるため、対話が生まれやすいと考えた。また、2時目以降の用具はこの学校にもあるもので、スペースや動きに制限をかけ、挑戦してみたいと思えるものにした。

##### ・場の工夫

輪を使い、容易に移動できる場から少し難しいと感じられる場へと少しずつ変化を与える。また2時は用具を単発で、3時はつなげてコースにすることで、難しそうだが挑戦したいと思えるような場を考えた。(右図)



##### ○活動するグループの工夫

リズムカルなほぐしでは人数が増えることで、ゆったりしたほぐしではペアが変わることで心や体の感じ方が変わるのではないかと考えた。また、グループのほぐしでは、3時の後半でこれまでのグループではなく、メンバーを入れ替えることで、グループ内での活性化や新たな課題発見、人間関係がより広がり、深まるのではないかと考えた。

## (5) 授業における学びの姿

### ① 1時日の姿

まずは授業の流れを確認しながらオリエンテーションを行った。児童が気付いたことは板書に整理し残しておいた。(写真1)この板書をもとに、1～3時に向けて、児童の気づきが広がり深まっていることを実感できるようにした。

『心と体の変化への気づき』の各授業前半において、リズムカルなほぐしでは、自由に移動やクラッピング、ペアでダンスなどの活動を行った。BGMに合わせて動く中で、自然と笑顔になり声が出ていた。また、その後のゆったりしたほぐしでは、一転して静かで落ち着いたBGMの中でストレッチやマッサージを行った。リズムカルなほぐしでは、「自由に動けて楽しい」「ダンスでもっと多くの人としたい。」という意見が出た。また、ゆったりしたほぐしでは「どうしたらもっと気持ちがいいかな。」と問うと、「もう少し弱く」や「もう少し強く」と伝えるとちょうどよい力でやってくれた。」と互いに気持ちよさを伝えることに着目しており、1時日から心と体の変化に加え、気持ちを伝え合うことの大切さに気付くことができた。

『仲間との交流』にあたる各授業後半のグループのほぐしでは、輪の中に入るだけで、「ギューギュー。」と友達との距離の近さに胸を弾ませており、運動が始まると、輪から輪への移動の際に友達とぶつかったり、時には輪から飛び出してしまうたりして「落ちた！」と失敗も笑い合う様子が見られた。落ちてもペナルティーはないが、グループで落ちないように工夫する姿が見られた。この運動も何度もしている内に、より遠くに縄を置き、ジャンプして入ろうとする姿が見られた。(写真2)児童なりにこの運動をより楽しくしようとする姿であった。グループの中には「そんなに遠くだといけない。」という児童もいたが、同じグループの友達に背中を押され、チャレンジすると輪に入ることができ喜び姿も見られた。ふり返りの中では「友達と協力してできた。」「失敗したところもあったけど楽しかった。」といった発言があり、気づきを共有した。ここでの気づきをもとに、2時日以降はより「楽しいや協力とは何かに迫れるようにしよう。」と気づきを深めるための視点を与えた。



### ② 2時日の姿

1時に引き出した「ダンスでもっと多くの人としたい。」という言葉を受け、リズムカルなほぐしではダンスを4人に増やした。「人数を増やしたことで前と違うことがあったかな。」と問うと、多くの児童が楽しくなったと答えた。一方で、息をそろえるのが難しくなったという気づきも出た。ゆったりしたほぐしでは、前時の板書をもとに、力加減を伝えることの大切さを想起させることで、「もっと強くしてもいいよ。」「優しくやって。」といった言葉での伝え合いが前時よりもできており、運動の最中にも互いの気持ちを伝え合う姿が多く見られた。

グループのほぐしでは、輪の移動に加えて用具を準備した。用具が出てくることで「楽しそう。」「少し難しそう。できるかな。」と意欲的な表情が変わった。それぞれの用具の上で、バランスを取ったり、友達が入るスペースを作るための工夫をしたりして、「もっと詰めて。」などの声かけや肩や腕をつかむなどの協力する姿が見られるようになった。(写真3)様々な用具がある中で、「次はあっちをやってみよう。」「さっきうまくいかなかったからもう一度やってみよう。」と友達と相談し、場を選ぶことができた。縄の輪だけでも友達との距離が近いが、さらに用具の上ではその距離がより近づき、どうすればみんなが乗れるかを試行錯誤する姿が多く見られた。ふり返りでも、友達を意識した「スペースを空ける」「支える」などの動きから「最初(1時)よりも協力で





きた。」という発言があり、前時より深まりを感じた。また、「次は友達とどんなことに挑戦したいかな。」と問うことで、「つなげてコースにしたらもっと楽しく協力できそう。」と多くの児童の反応があり、児童の思考と授業の想定が自然な展開で進行していることがわかった。

### ③ 3時目の姿

3時では前半の運動で人数を増やしたりペアを変えたりして取り組んだ。またリズムカルなほぐしでは、BGMのテンポを変え、スピードに変化を与えてダンスを行った。前半の活動を終えてふり返ると、「遅いテンポに変わって、それに合わせるのが楽しい。」という意見が出た。また「グループのみんなで動く楽しい。」「普段は話さない人と遊んだりしゃべったりして楽しい。」と心と体の変化だけでなく、仲間との交流に関連した新たな気付きも出てきた。リズムカル、ゆっつりの2つのほぐしの違いを発問した際には、これまで漠然と「楽しい」に留まっていた気付きが「リズムカルは楽しく、ゆっつりは気持ちいい。」と多くの児童が楽しいと気持ちがよいの違いを感じることができていた。

写真4：コースを移動する様子



グループのほぐしでは、前時の「場を組み合わせさせてコースにしたい」という児童の発言から、用具を組み合わせコースを移動した。コースにしたことで運動の前から「楽しそう。早くやりたい。」などの声が聞かれた。このことから児童の意欲が高まっていることが感じられた。グループのほぐしを始めると、2時目とは違い、スタートとゴールを意識していかに速くゴールに辿り着くかや、いかに輪から落ちないように進めるかなどグループでの楽しみ方は様々であった。(写真4)「コースにして、何か気持ちに違いがあったかな。」と問うと、「長くなって友達ともっと力を合わせてできて楽しかった。」「つないでコースにすると『わくわく』『どきどき』が増えて楽しかった。」など1時から徐々に変化してきた運動に対して、気付きの広がりや深まりを共有することができた。また、活動の後半ではメンバーの入れ替えを行った。1時からずっと同じメンバーで行っており、入れ替えを伝えると意外にも「このままがいい。」という声が多々あった。違う友達と関わることより、高まってきていたチームワークを改めて築き直すことの方が児童にとって抵抗があることがわかった。一方、これまでにそれぞれのグループが運動を通して、より深い関係になっていることもわかった。活動後、「違うグループでやってみただけ、これまでと比べてどうでしたか。」の発問に、「難しくなったけど、これまでとは違う友達とできて楽しかった。」といった意見が出た。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

- ・リズムカルなほぐしから始めることで緊張感が和らぎ、ゆっつりしたほぐしでは互いに力の入れ具合について会話しながら深めることができた。心と体の変化に気付きやすい展開になった。
- ・グループのほぐしを2本の輪で行うことで、必然的に密接して活動でき、対話が生まれるので仲間との交流に効果的であった。また、用具を用いることでより交流が促進された。
- ・前時の気付きをもとに、用具や場、活動を設定したことで、より主体的に活動できた。
- ・板書を残すことで、思考の変化や繋がりが分かり気付きの広がりや深まりを感じやすくなった。
- ・『心と体の変化(関係)への気付き』と『仲間との交流』の時間の両方を1単位時間に位置づけることで、両者を関連づけて考えることができた。

### (2) 課題

- ・グループのほぐしの際、並び順を変え、役割が変わることで気付けるものもあると考える。「一定時間経つ」「特定の場所までくると並び順が変わるなどのルールを設定してもよい。
- ・気付きを広げ、深めるために、ねらいに向かって方向づける、児童同士の発言を結び付ける、児童の発言に対して問い返しや掃さぶりをする等のコーディネートは今後も課題である。

6 単元計画（全3時間）

|            | 1  | 2   | 3   |
|------------|--|---|---|
| 学習の展開と学習活動 | <p>1 「軽快なリズムに合わせた運動」をする。</p> <p>◇1人で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弾んだり移動したりする</li> <li>・ジャンプしたり、ハイタッチをしたりする。</li> </ul> <p>◇2人で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞の輪でバスや輪投げをする。</li> </ul>  | <p>1 「軽快なリズムに合わせた運動」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲のスピードを遅くしたり、元のスピードにしたりして行う。</li> </ul> <p>◇1人で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弾んだり移動したりする</li> <li>・ジャンプしたり、ハイタッチをしたりする。</li> </ul> <p>◇2人で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞の輪でバスや輪投げをする。</li> </ul> | <p>1 「軽快なリズムに合わせた運動」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲のスピードを遅くしたり、元のスピードにしたりして行う。</li> </ul> <p>◇1人で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弾んだり移動したりする</li> <li>・ジャンプしたり、ハイタッチをしたりする。</li> </ul> <p>◇3人以上で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞の輪でバスや輪投げをする。</li> </ul> |
|            | <p>2 「ゆったりとしたリズムに合わせた運動」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2人でストレッチをしたり、マッサージをし合ったりする。</li> </ul>  | <p>2 「ゆったりとしたリズムに合わせた運動」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2人でストレッチをしたり、マッサージをし合ったりする。</li> <li>・第1時とはペアを変えて行う。</li> </ul>  | <p>2 「ゆったりとしたリズムに合わせた運動」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2人でストレッチをしたり、マッサージをし合ったりする。</li> <li>・第1時、第2時とはペアを変えて行う。</li> </ul>  |
|            | <p>3 前半の振り返りをする</p>  | <p>3 前半の振り返りをする</p>   | <p>3 前半の振り返りをする</p>   |
|            | <p>4 「友達と協力して行う運動」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーリングとして、2つの輪を使って友達と協力して体育館を歩く活動を行う。</li> <li>・2つの輪を使って進む活動のルールを知る。</li> </ul>  | <p>4 「友達と協力して行う運動」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館に個別に配置されたそれぞれの運動の場を、2つの輪を使って進む活動を行う。</li> </ul>   | <p>4 「友達と協力して行う運動」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの運動の場をつなげたコースを、2つの輪を使って進む活動を行う。</li> <li>・最初は第1時、第2時と同じメンバーで行う。</li> <li>・途中から、メンバーを変えて行う。</li> </ul>  |
|            | <p>5 学習の振り返りをする。</p> <p>学習カードに記入する。</p>  | <p>5 学習の振り返りをする。</p> <p>学習カードに記入する。</p>   | <p>5 学習の振り返りをする。</p> <p>学習カードに記入する。</p>   |
|            | <p>6 片付けをする。</p> <p>器械・器具の片付けで、分担された役割を果たす。</p>  | <p>6 片付けをする。</p> <p>器械・器具の片付けで、分担された役割を果たす。</p>   | <p>6 片付けをする。</p> <p>器械・器具の片付けで、分担された役割を果たす。</p>   |
| 実行指導内容     | <p>リズムに合わせたり、友達と力を合わせたりしながら運動に取り組む姿。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・触れ合う</li> <li>・手をつなぐ</li> <li>・体を支える</li> <li>・スピードを調節する</li> <li>・友達が入れるスペースを作る</li> <li>・動き方を友達に教える</li> </ul>  |   |   |
| 主な学習の姿     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に楽しむことができる場を設定する。</li> <li>・リズムに合わせたり、動的、静的な活動を組み合わせたりする。</li> <li>・活動や条件を選べるように視覚支援を行う。</li> <li>・条件やコースを選べるようにする。</li> <li>・友達とともに活動する楽しさや喜びを感じることができるようなコースを設定する。</li> <li>・条件やコースの変化によって以前の運動と比べたり、心と体の変化を振り返ったりできるように問いかける。</li> </ul>  |   |   |
| 学習計画       | <p>【知識及び技能】・心と体が関係し合っていることに気付くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と豊かに関わり合う楽しさや大切さを体験することができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】・心地よさを味わったり、友達との関わり合いが深まったりする運動の行い方を選ぶことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心や体の変化に気付いたり、みんなで行って楽しいと感じたりした運動を友達に伝えることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】・体ほぐしの運動に積極的に取り組むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動を行う際の約束を守り、友達と助け合うことができる。</li> <li>・運動を行う際の場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たすことができる。</li> <li>・運動の行い方について友達の気付きや考え、取り組みのよさを認めることができる。</li> <li>・用具の使い方や周囲の安全に気を配ることができる。</li> </ul> |   |   |



# 児 童 表 彰

## 1 水泳能力優秀児童表彰基準と表彰手続き

### ア 表彰基準

| 泳 法 | 男 子   |       | 女 子   |       |
|-----|-------|-------|-------|-------|
|     | 自 山 形 | 平 泳 ぎ | 自 由 形 | 平 泳 ぎ |
| 1 級 | 45秒   | 55秒   | 48秒   | 60秒   |
| 2 級 | 50秒   | 60秒   | 53秒   | 65秒   |
| 3 級 | 55秒   | 65秒   | 58秒   | 70秒   |

(50m)

1 級該当者を表彰する。

プール未設置校では、500m完泳者を表彰する。

### イ 実施後の処置

- 支部・地区単位の記録会で1級該当児童について、その種目、タイム、児童名を各郡市理事へ報告する（自由形、平泳ぎどちらか一方で可）
- 表彰記録該当の児童には、県小体連制定のバッジを授与する。（令和2年度より全額県小体連負担）
- 各郡市理事への報告締め切り **8月5日**
- 県小体連事務局への報告締め切り **8月20日**  
 ※各支部の水泳担当者は、各学校からの報告をとりまとめ、岡山県小学校体育連盟のホームページの申請フォームで入力・送信する。なお、過不足があった場合についても、岡山県小学校体育連盟のホームページの申請フォームで入力・送信する。
- バッジは、各支部の水泳担当者へ郵送する。

## 2 陸上運動優秀児童表彰基準と表彰手続き

### ア 標準記録

| 段 階 | 100m (秒) |       | 60mハードル(秒) |       | 走り幅とび(m) |      | 走り高とび(m) |      | ソフトボール投げ(m) |    |
|-----|----------|-------|------------|-------|----------|------|----------|------|-------------|----|
|     | 男        | 女     | 男          | 女     | 男        | 女    | 男        | 女    | 男           | 女  |
| 5   | 14" 8    | 15" 6 | 10" 8      | 11" 5 | 4.00     | 3.60 | 1.20     | 1.15 | 50          | 35 |
| 4   | 15" 3    | 16" 1 | 11" 2      | 11" 9 | 3.75     | 3.35 | 1.15     | 1.10 | 46          | 31 |
| 3   | 15" 9    | 16" 7 | 11" 6      | 12" 3 | 3.50     | 3.05 | 1.05     | 1.00 | 42          | 27 |
| 2   | 16" 6    | 17" 4 | 12" 0      | 12" 7 | 3.25     | 2.80 | 1.00     | 0.95 | 38          | 23 |
| 1   | 17" 4    | 18" 2 | 12" 4      | 13" 1 | 3.00     | 2.50 | 0.95     | 0.90 | 34          | 19 |

- 各学校では、1学期に新体力テストを実施して、自校の実態を知ったり各児童の能力を確認したりして、2学期に陸上運動記録会を実施して評定することが望ましい。

## イ 実施後の処置

- 支部・地区の記録会で標準記録5の段階を突破した児童に、県小体連制定のバッジを授与する。(令和2年度より全額県小体連負担)  
1人で2種日以上突破した児童についても、バッジは1個にとどめる。
- 各郡市理事への報告締め切り 11月4日
- 県小体連事務局への報告締め切り 11月18日  
※各支部の陸上運動担当者は、各学校からの報告書を取りまとめ、岡山県小学校体育連盟のホームページの申請フォームで入力し、送信する。なお、過不足があった場合についても、岡山県小学校体育連盟のホームページの申請フォームで入力・送信する。
- バッジは、各支部の陸上運動の担当者へ郵送する。

## ウ 実施上の留意事項

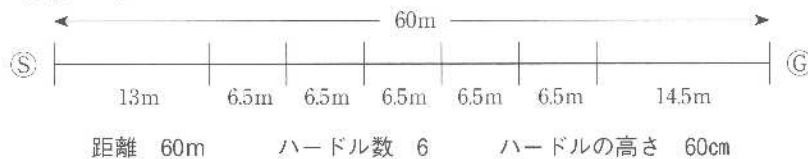
新体力テストと違って、学習時に指導した成果を確かめるものであるから、能力だけでなく競技としての測定であることに留意してほしい。例えば、今までの報告の中には、走り幅跳びを踏み切り線から測定せず、踏み切った位置から測定したと思われるものがある。運動能力を見るのではなく、「踏み切り線に足を合わせてとぶ」という学習の結果を見るのであるから必ず踏み切り線から厳重に測定してほしい。

## エ 実施要領

### 1 100m走

- できるだけ直線路を使用してほしいが、やむを得ぬ場合は曲走路セパレートコースを作ってほしい。
- スタートイングブロックを使用することを原則とし、合図はピストルを使う。

### 2 60mハードル

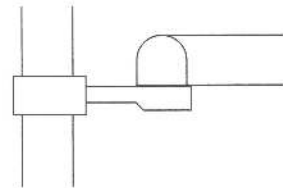


### 3 走り幅跳び

- 試技数は3回
- 踏み切り線から着地までの最短距離を測定する。

### 4 走り高跳び

- 同一の高さの試技は3回まで。
- バーは正式に横にかける。(右図参照)
- 高さはバーの最低部(中央部)より地面までをその都度測定する。



### 5 ソフトボール投げ

- 試技数は2回で、よいほうをcm単位で計測する。
- 使用ボールは、1号球(外周26.2cm~27.2cm、重さ136g~146g)

## 水泳・陸上運動記録会に係る提出書類の流れについて

### (1) 提出書類一覧

|   | 内 容  | 様 式                  | 締め切り                                | 担当者          |
|---|--|----------------------|-------------------------------------|--------------|
| ① | 助成金振込通帳確認  | 県小体連HPの申請フォームで入力     | 入金後1週間以内                            | 本会計 西田(吉備小)  |
|   | 【記録会実施前】   |                      |                                     |              |
| ② | 「令和3年度岡山県小学校体育連盟水泳・陸上記録会・体育研究会・実技講習会の予定」   | 様式1<br>(Excel入力)     | 5月21日(金)                            | 副理事長 合田(芳田小) |
| ③ | 「令和3年度岡山県小学校体育連盟地区別記録会予算書」   | 様式2<br>(Excel入力)     | 6月4日(金)                             | 書記 中谷(可知小)   |
|   | 【記録会実施後】   |                      |                                     |              |
| ⑤ | 実施報告   | 県小体連HPの申請フォームで入力     | 水泳：<br>8月20日(金)<br>陸上：<br>11月18日(木) | 書記 中谷(可知小)   |
| ⑥ | 「令和3年度岡山県小学校体育連盟地区別記録会決算書」   | 様式2の予算書に上書き(Excel入力) |                                     | 書記 中谷(可知小)   |
| ⑦ | 実施開催要項(1部)   | 今年度から必要無し            |                                     |              |
|   | 【記録会未実施の場合】<br>③⑥の予算書、決算書は必ず作成し、書記 中谷(可知小)まで送付。体力向上、体育授業研究等に使用した助成金の領収書を⑧様式3により事務局へ送付。 |                      |                                     |              |
| ⑧ | 助成金領収書   | 様式3                  |                                     | 書記 中谷(可知小)   |

### (2) 提出書類・報告の流れ

- ① 5月下旬 総会終了後、県小体連事務局から 要項等を各支部にデータで送付
- ② 6月4日 各支部記録会の【様式2】「予算書」(Excel)を事務局に送付する。  
※予算書であることから、昨年度の決算をもとに大まかな数値を入力
- ③ 記録会終了後 担当者は「実施報告」「収支決算書」を作成する。  
「実施報告」：県小体連HPの申請フォームにより入力・送信  
「収支決算書」：収支予算書を参考に、支出した領収書を確認して【様式2】決算書Excelに入力し、事務局にデータで送付する。  
※関係の領収書を【様式3】に貼り付け、事務局に送付する。  
※担当者は県小体連事務局中谷(可知小)まで送付(Fax086-943-7870か E-Mail)  
※ブロックによっては、支部を統括する担当者を決めているところもあります。予算書、決算書等の報告は支部ごとをお願いします。(ブロック責任者が支部をまとめてブロックでの報告にする必要はありません。)  
※各支部の小学校毎の報告をそのまま数枚にわたって送付しないでください。  
事務局の書式に合わせて報告願います。これまでの各支部の書式で送付されるケースがまだ見られますので、確認願います。

#### 水泳・陸上関係担当者連絡先一覧

|      |    |           |                 |
|------|----|-----------|-----------------|
| 本会計  | 西田 | 岡山市立吉備小学校 | TEL086-293-0002 |
| 副理事長 | 合田 | 岡山市立芳田小学校 | TEL086-241-6900 |
| 書記   | 中谷 | 岡山市立可知小学校 | TEL086-943-7870 |

# 岡山県小学校体育連盟規約

## 第一章 総 則

(名称および所在)

第1条 この連盟は岡山県小学校体育連盟と称する。

第2条 この連盟は事務局を会長または理事長所属の学校内に置く。

## 第二章 目的 および 事業

(目 的)

第3条 この連盟は小学校における体育の健全な発達を図ることを目的とする。

(事 業)

第4条 この連盟は前条の目的達成のため下記の事業を行う。

- (1) 小学校体育指導者の資質向上に関する研究会・講習会・講演会などの開催
- (2) 小学校体育に関する情報・資料の交換
- (3) 小学校体育に関する調査
- (4) 体育諸団体との連絡
- (5) その他本連盟の目的達成に必要な事項

## 第三章 組 織

第5条 この連盟は県下の小学校をもって組織するものとし、各郡市に支部を置く。支部の規約は支部において別に定める。

第6条 この連盟は専門部を置くことができる。

## 第四章 役 員

(役 員)

第7条 この連盟に下記の役員を置く。

- |             |     |               |     |
|-------------|-----|---------------|-----|
| (1) 会 長     | 1 名 | (2) 副 会 長     | 3 名 |
| (3) 理 事 長   | 1 名 | (4) 副 理 事 長   | 若干名 |
| (5) 理 事     | 若干名 | (6) 監 事       | 2 名 |
| (7) 研 究 部 長 | 1 名 | (8) 研 究 副 部 長 | 若干名 |
| (9) 会 計     | 若干名 | (10) 書 記      | 若干名 |
| (11) 顧 問    | 若干名 |               |     |

(役員を選出方法)

第8条 会長・副会長、理事長・副理事長および監事は、理事会において選出する。

第9条 理事は次のとおりとする。

- (1) 各支部より1名選出したもの
- (2) 本県体育界の学識経験者の中から理事会において推挙したもの
- (3) 専門部より推挙したもの

第10条 研究部長・研究副部長、会計および書記は会長が委嘱する。

第11条 顧問は、理事会において推薦し、会長が委嘱する。

(役員の特権)

第12条 この連盟の役員の特権は次のとおりとする。

- (1) 会長は本連盟を代表し会務を統轄する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職を代理する。
- (3) 理事長は会務の処理に任ずるとともに、会長・副会長事故あるときはその職を代理する。
- (4) 副理事長は理事長を補佐し、理事長事故あるときはその職を代理する。
- (5) 理事は理事会を組織し、本会の重要事項を審議し決議する。
- (6) 監事は本連盟の会計および業務執行の状況を監査する。
- (7) 研究部長・研究副部長は、副読本の編集および研究活動の推進を司る。
- (8) 会計は本連盟の会計を司る。
- (9) 書記は本連盟の業務の記録を司る。
- (10) 顧問は重要事項に関し、会長の諮問に応ずる。

第13条 役員任期は1カ年とする。ただし、重任を妨げない。

2. 役員に欠員を生じたときは補充することができる。この場合の任期は前任者の残任期間とする。

(役員身分および費用介償)

第14条 役員はすべて名誉職とする。ただし、その任職のために要した費用は実費介償を受けることができる。

## 第五章 機 関

(機 関)

第15条 この連盟に理事会を置く。

(理事会の運営)

第16条 理事会はこの連盟の意思決定機関であって、理事で構成し会長が招集する。

2. 理事会は理事の過半数で成立し、議事は出席理事の3分の2以上の賛成をもって決めることを原則とする。

3. 理事会は、審議決定するための原案を作成するために理事会準備委員会を設置することができる。なお、理事会準備委員会は、会長・副会長・監事・理事長・副理事長で組織する。

第17条 理事会は次の事項を審議決定する。

- (1) 規約およびこれに基づく諸規定の制定並びに改廃
- (2) 役員を選出および承認
- (3) 予算及び決算
- (4) 事業の運営の基本方針
- (5) その他この運営に必要な事項

## 第六章 会 計

(経 費)

第18条 この連盟の経費は著作権料その他の収入をもってこれにあてる。

第19条 この連盟の会計年度は、毎年5月1日に始まり翌年4月30日に終わる。

## 附 則

この規約は昭和58年5月1日から施行する。

(昭和60年、平成2年、3年、4年、20年、令和2年一部改訂)

## 岡山県小学校体育連盟表現専門部規定

第1条 この部は、岡山県小学校体育連盟表現専門部と称する。

第2条 この部は、岡山県小学校体育連盟規約第6条にもとづいて組織されたもので、表現運動の指導について研究し、その指導力の向上を目的とする。

第3条 この部に次の役員をおく。

- |          |     |         |     |
|----------|-----|---------|-----|
| (1) 部長   | 1名  | (2) 副部長 | 2名  |
| (3) 常任幹事 | 若干名 | (4) 幹事  | 若干名 |
| (5) 書記   | 2名  | (6) 会計  | 1名  |

第4条 この部の役員選出は、次のとおり行う。

- (1) 部長、副部長は、幹事会において選出する。
- (2) 常任幹事は、岡山ブロック、津山ブロックは2名ずつ、倉敷ブロック（旧高梁教育事務所を含む）は3名、幹事より互選する。
- (3) 幹事は、各支部より1名選出する。（性別は問わない。）
- (4) 書記、会計は、部長が委嘱する。

第5条 役員の任務は、次のとおりとする。

- (1) 部長は、本専門部を代表し、会務を統轄する。
- (2) 副部長は部長を補佐し、部長に支障があるときは、その職を代行する。
- (3) 常任幹事は常任幹事会を組織し、会務につき審議する。
- (4) 幹事は幹事会を組織し、この部の重要事項を決議する。
- (5) 書記、会計は、会務の処理、会計事務にあたる。

第6条 役員の任期は、1カ年とする。ただし、重任を妨げない。役員に欠員を生じたときは、補充することができる。この場合の任期は、前任者の残任期間とする。

第7条 常任幹事会は、規約および幹事会の決定に従って、この部会の事務を執行するほか、緊急の場合は、幹事会の職務を代行することができる。ただし、この場合は、次の幹事会において承認を求めなければならない。

第8条 幹事会は、次の事項を審議決定する。

- (1) 役員の選出および承認
- (2) 事業計画
- (3) その他この会の運営に必要な事項

第9条 この部の経費は、岡山県小学校教育研究体育部会および岡山県小学校体育連盟よりの支出をもってこれに当てる。

附則 支部は、各郡市におく。ただし、岡山市は5支部、倉敷市は4支部扱いとする。

この規定は、平成21年5月28日より実施する。（令和2年一部改訂）

※「岡山ブロック」は旧岡山教育事務所、「倉敷ブロック」は旧倉敷教育事務所（旧高梁教育事務所を含む）、「津山ブロック」は旧津山教育事務所

## 岡山県小学校体育連盟役員選考にかかわる内規

### 役員選考

- ：理事会総会の当日、役員選考委員会において選考する。
- ：役員選考委員会は、各支部理事長23名と理事長1名の24名で構成する。

#### 〈関係規約〉

岡山県小学校体育連盟規約 第4章 第7～11条

- 1 理事会において選出する役員 第7条のとおり  
会長 副会長 理事長 副理事長 監事
- 2 理事会において推挙する学識常任理事、学識理事、および顧問 第8、9、11条
  - (1) 学識常任理事
    - ：副会長・理事長経験者で、現職にある者。任期は役職に任じた期間と同等期間とする。
    - ：各専門部の代表。任期は役職期間中とする。
    - ：特に役員選考委員会で推挙した者。任期は1年間とする。ただし、重任は妨げない。
  - (2) 学識理事
    - ：会長より委嘱された役員を経験した者で、現職にある者。ただし、顧問は除く。任期は役職に任じた期間と同等期間とする。
    - ：特に役員選考委員会で推挙した者。任期は1年間とする。ただし、重任は妨げない。
  - (3) 顧問
    - ：会長経験者。任期は5年、又は、会長在職期間と同等期間とする。
    - ：県教育庁。任期はその職にある期間とする。
    - ：特に役員選考委員会で推挙した者。任期は1年間とする。ただし、重任は妨げない。
  - (4) 会長委嘱役員 規約第10条のとおり  
※この内規は、平成21年5月20日より施行する。(令和2年一部改訂)

## 岡山県小学校教育研究会体育部会規約

第1条 この部会は、会則第7条の規定により、岡山県小学校教育研究会体育部会と称し、事務局を幹事長勤務の学校におく。

第2条 この部会は、小学校教育の研究推進を目的とする。

第3条 この部会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 小学校体育指導者の資質向上に関する研究会・講習会・講演会などの開催
- (2) 小学校体育に関する調査
- (3) その他目的達成に必要な事項

第4条 この部会には、部会長(1)、副部会長(4)、幹事長(1)、書記・会計(1)、監査(1)、幹事(各郡市1名)をおく。

第5条 部会長・副部会長・幹事長・書記会計・監査の任期は1年とする。ただし、重任を妨げない。

第6条 部会長は部会を統括する。

2. 副部会長は部会長を補佐し、部会長事故あるときはその職を代行する。
3. 幹事長は部会の事務に従事する。
4. 幹事は部会の常務を処理する。
5. 監査は会計を監査する。

第7条 部会長・副部会長・幹事長・書記会計・監査は、幹事会において選出し、幹事は、各郡市支部会において選出する。

第8条 部会においては、随時会議を開き、必要事項を審議する。

第9条 部会運営に関する細則は、別に定める。(専門部等)

第10条 部会に要する経費は、次のとおりとする。

- (1) 幹事会の承認を得て決められる経費
- (2) 会員の支出する経費
- (3) 寄付金

この規約は、平成21年5月20日より施行する。(令和2年一部改訂)



## 令和3年度 岡山県小学校体育連盟役員名簿

| 役職名    | 氏名    | 連絡先           |
|--------|-------|---------------|
| 会長     | 小川 泰永 | 岡山市立五城小学校     |
| 副会長    | 難波 真理 | 岡山市立御野小学校     |
| 副会長    | 山神 勝昭 | 倉敷市立茶屋町小学校    |
| 副会長    | 岡崎 晃治 | 真庭市立天津小学校     |
| 監事     | 那須 健二 | 岡山市立福浜小学校     |
| 監事     | 藤井 朗  | 倉敷市立草高小学校     |
| 理事長    | 松本 年永 | 岡山市立御南小学校     |
| 副理事長   | 長田 敏彰 | 岡山市立御野小学校     |
| 副理事長   | 合田 典生 | 岡山市立芳田小学校     |
| 研究部長   | 中西 一臣 | 岡山市立高島小学校     |
| 研究副部長  | 高原 大嗣 | 倉敷市立倉敷西小学校    |
| 研究副部長  | 松本 拓也 | 岡山大学教育学部附属小学校 |
| 研究部員   | 難波 由美 | 岡山市立妹尾小学校     |
| 研究部員   | 村瀬 遼平 | 岡山市立旭竜小学校     |
| 研究部員   | 井関 哲朗 | 岡山市立浦安小学校     |
| 研究部員   | 居森 陽平 | 岡山市立高島小学校     |
| 研究部員   | 竹山 龍也 | 岡山市立御南小学校     |
| 研究部員   | 宮下 隼  | 岡山市立吉備小学校     |
| 会計     | 西田 真悟 | 岡山市立吉備小学校     |
| 副総本会計  | 森下 賢  | 岡山市立岡南小学校     |
| 書記     | 中谷 和滋 | 岡山市立可知小学校     |
| 学識常任理事 | 三宅 泰司 | 岡山市立芳泉小学校     |

| 役職名    | 氏名     | 連絡先         |
|--------|--------|-------------|
| 学識常任理事 | 西岡 宏   | 新見市立西方小学校   |
| 学識常任理事 | 小林 紀彦  | 岡山市立岡山中央小学校 |
| 学識常任理事 | 原 哲也   | 岡山市立高島小学校   |
| 学識常任理事 | 鳥越 有実子 | 岡山市立津島小学校   |
| 学識常任理事 | 松本 容子  | 岡山市立平津小学校   |
| 学識理事   | 菅野 純郎  | 岡山市立操明小学校   |
| 学識理事   | 藤澤 正宏  | 岡山市立平福小学校   |
| 学識理事   | 三村 忠   | 岡山市立富山小学校   |
| 学識理事   | 高上 清敬  | 倉敷市立長尾小学校   |
| 学識理事   | 海老澤 毅  | 岡山市立西大寺小学校  |
| 学識理事   | 金田 典子  | 岡山市立岡山中央小学校 |
| 顧問     | 原 祐一   | 岡山大学教育学研究科  |
| 顧問     | 佐野 俊貴  | 岡山県教育庁保健体育課 |
| 顧問     | 猪木 一見  |             |
| 顧問     | 方川 淳   |             |
| 顧問     | 高垣 明彦  |             |
| 顧問     | 牧野 泰三  |             |
| 顧問     | 清原 義之  |             |
| 顧問     | 平坂 正夫  | 岡山市少年自然の家   |
| 顧問     | 萩野 克己  | 福祉交流プラザたけべ  |
| 顧問     | 有森 貢   | 岡山市上道公民館    |

## 令和3年度 岡山県小学校教育研究会 体育部会役員名簿

| 役職名   | 氏名              | 勤務校        |
|-------|-----------------|------------|
| 部会長   | 小川 泰永           | 岡山市立五城小学校  |
| 副部会長  | 難波 真理           | 岡山市立御野小学校  |
| 〃     | 山神 勝昭           | 倉敷市立茶屋町小学校 |
| 〃     | 岡崎 晃治           | 真庭市立天津小学校  |
| 幹事長   | 松本 年永           | 岡山市立御南小学校  |
| 書記・会計 | 松本 年永           | 岡山市立御南小学校  |
| 監査    | 那須 健二           | 岡山市立福浜小学校  |
| 幹事    | 岡山県小学校体育連盟理事が兼任 |            |

## 関係団体役員名簿

### 岡山県学校体育研究連合会役員

| 役職名 | 氏名    |
|-----|-------|
| 副会長 | 小川 泰永 |
| 委員  | 難波 真理 |
| 〃   | 松本 年永 |
| 〃   | 松本 容子 |
| 〃   | 合田 典生 |

### 中・四国小学校体育連盟役員

| 役職名  | 氏名    |
|------|-------|
| 参与   | 清原 義之 |
| 副会長  | 小川 泰永 |
| 常務理事 | 松本 年永 |
| 理事   | 中西 一臣 |
| 〃    | 西田 真悟 |
| 〃    | 森下 賢  |

## 令和3年度版「わたしたちの体育」集計表

令和3年4月14日現在

| 支部名 |             | わたしたちの体育児童用 |        |        |        |        |        |        | 教師用指導書 |    |    |    |    |    |     | 表現<br>運動<br>CD |
|-----|-------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|----|----|----|----|-----|----------------|
|     |             | 1年          | 2年     | 3年     | 4年     | 5年     | 6年     | 合計     | 1年     | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計  |                |
| 1   | 岡 山         | 2220        | 2389   | 4295   | 4618   | 5266   | 5201   | 23,989 | 13     | 14 | 13 | 12 | 17 | 16 | 85  |                |
| 2   | 加 賀         | 73          | 75     | 83     | 74     | 89     | 72     | 466    | 3      | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 18  | 1              |
| 3   | 備 前         | 35          | 57     | 108    | 131    | 150    | 115    | 596    |        |    |    |    | 1  |    | 1   |                |
| 4   | 赤 磐         | 368         | 381    | 424    | 401    | 416    | 376    | 2,366  | 1      | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 6   | 1              |
| 5   | 和 気         | 90          | 81     | 98     | 91     | 91     | 89     | 540    |        |    |    |    |    |    | 0   |                |
| 6   | 瀬 戸 内       | 276         | 268    | 291    | 323    | 318    | 357    | 1,833  | 1      | 1  |    | 1  |    | 1  | 4   |                |
| 7   | 玉 野         | 412         | 395    | 414    | 390    | 402    | 423    | 2,436  | 2      | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 12  |                |
| 8   | 倉敷・倉敷       | 3,246       | 3,270  | 3,174  | 3,314  | 3,336  | 3,305  | 19,645 | 6      | 10 | 7  | 7  | 9  | 8  | 47  | 1              |
| 9   | 倉敷・児島       | 487         | 512    | 486    | 526    | 535    | 520    | 3,066  |        |    |    | 1  |    |    | 1   |                |
| 10  | 倉敷・玉島       | 546         | 558    | 544    | 613    | 581    | 578    | 3,420  |        | 2  |    |    | 1  |    | 3   |                |
| 11  | 倉 敷<br>船穂真備 | 246         | 250    | 262    | 268    | 269    | 282    | 1,577  | 1      | 1  | 1  | 1  | 2  | 1  | 7   | 2              |
| 12  | 浅 口         | 351         | 323    | 386    | 362    | 383    | 412    | 2,217  |        |    |    |    |    |    | 0   | 2              |
| 13  | 笠 岡         | 306         | 330    | 330    | 332    | 331    | 370    | 1,999  | 1      | 1  | 1  | 2  | 1  | 2  | 8   | 1              |
| 14  | 小 田         | 92          | 97     | 101    | 109    | 86     | 110    | 595    | 2      | 2  | 2  | 2  | 2  | 3  | 13  | 1              |
| 15  | 井 原         | 232         | 254    | 266    | 288    | 297    | 309    | 1,646  |        |    |    |    |    |    | 0   |                |
| 16  | 総 社         | 682         | 658    | 645    | 720    | 680    | 688    | 4,073  | 6      | 4  | 5  | 5  | 4  | 4  | 28  |                |
| 17  | 高 梁         | 183         | 165    | 218    | 163    | 200    | 208    | 1,137  | 15     | 11 | 14 | 11 | 14 | 11 | 76  |                |
| 18  | 新 見         | 173         | 185    | 187    | 179    | 192    | 194    | 1,110  | 15     | 16 | 16 | 17 | 17 | 17 | 98  |                |
| 19  | 津 山         | 232         | 355    | 351    | 330    | 353    | 350    | 1,971  | 11     | 11 | 10 | 10 | 10 | 11 | 63  |                |
| 20  | 苫 田         | 1           | 1      | 1      | 1      | 98     | 124    | 226    | 2      | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 12  |                |
| 21  | 久 米         | 14          | 8      | 8      | 10     | 7      | 12     | 59     | 1      | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 6   |                |
| 22  | 真 庭         | 48          | 45     | 51     | 57     | 55     | 43     | 299    | 6      | 6  | 6  | 7  | 6  | 6  | 37  | 1              |
| 23  | 美 作         | 4           | 4      | 4      | 4      | 4      | 4      | 24     | 4      | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 24  |                |
| 合 計 |             | 10,317      | 10,661 | 12,727 | 13,304 | 14,139 | 14,142 | 75,290 | 90     | 92 | 88 | 89 | 97 | 93 | 549 | 10             |

## 令和3年度 岡山県小学校体育連盟 支部役員一覧表

| 支 部 名           | 小体連理事 |       | 研究部員  |      | 副読本会計          |            | 表現専門部長 |       |
|-----------------|-------|-------|-------|------|----------------|------------|--------|-------|
|                 | 氏 名   | 勤務校   | 氏 名   | 勤務校  | 氏 名            | 勤務校        | 氏 名    | 勤務校   |
| 1 岡 山           | 小橋 陽子 | 宇野小   | 河野 佑太 | 清輝小  | 坪井 健治<br>合田 有作 | 津島小<br>横井小 | 中川 祐恵  | 津島小   |
| 2 加 賀           | 植杉 竜次 | 津賀小   | 頼定 瞳  | 円城小  | 杉原 祥           | 吉備高原小      | 杉原 祥   | 吉備高原小 |
| 3 備 前           | 瀧口 幸平 | 日生東小  | 森下 元貴 | 吉永小  | 定光 直哉          | 三石小        | 宇高千奈津  | 西鶴山小  |
| 4 和 気           | 富山 貴充 | 和気小   | 港 尚紀  | 佐伯小  | 富山 貴充          | 和気小        | 行木 栄田  | 佐伯小   |
| 5 赤 磐           | 仲村 尚記 | 山陽小   | 松尾 真哉 | 石相小  | 角野 皓太          | 山陽小        | 岸 貴広   | 軽部小   |
| 6 瀬戸内           | 田井東将器 | 国府小   | 藤原 崇  | 邑久小  | 出井 早紀          | 美和小        | 田中 詩乃  | 邑久小   |
| 7 玉 野           | 吉田 真司 | 大崎小   | 山本 紀  | 第二比小 | 吉見 真美          | 八浜小        | 小宗 真   | 宇野小   |
| 8 倉敷<br>(倉)     | 岩佐 進  | 連島西浦小 | 中田 雅人 | 帯江小  | 藤原 義宜          | 第五福田小      | 小寺 杏季  | 第二福田小 |
| 9 倉敷<br>(児)     | 岡本 貴幸 | 綾丘小   | 西 宏幸  | 味野小  | 池田 達哉          | 本荘小        | 津田 里保  | 琴浦西小  |
| 10 倉敷<br>(玉)    | 高島幸太郎 | 柏島小   | 西原 貴志 | 玉島小  | 弓削 脩記          | 南浦小        | 原山 和美  | 富田小   |
| 11 倉敷<br>(船・真)  | 宮田 智記 | 呉妹小   | 青野 智氣 | 二万小  | 木口 修           | 柳井原小       | 黒住 沙耶  | 箭田小   |
| 12 浅 口          | 植田 浩康 | 鴨方西小  | 谷川 行久 | 金光小  | 山本 将大          | 里庄西小       | 山淵 琢人  | 寄島小   |
| 13 笠 岡          | 三谷誠太郎 | 吉田小   | 井上 悠樹 | 金浦小  | 栗田 将典          | 今井小        | 横山 陽子  | 神島外小  |
| 14 小 田          | 尾崎 佑斗 | 三谷小   | 藤島 誠人 | 中川小  | 豊福 純平          | 川面小        | 守屋早友里  | 美川小   |
| 15 井 原          | 竹本 昂司 | 高屋小   | 三宅 啓品 | 青野小  | 山邊 純上          | 高屋小        | 山成加奈子  | 井原小   |
| 16 総 社          | 伊藤 真道 | 総社中央小 | 小河 直之 | 清音小  | 直原 政治          | 維新小        | 高細 宏美  | 昭和小   |
| 17 高 梁          | 石井栄二郎 | 中井小   | 中村 葵  | 富家小  | 堀田 治           | 川上小        | 小山 浩子  | 高粱小   |
| 18 新 見          | 石本 純浩 | 木郷小   | 三上 大祐 | 思誠小  | 武田 考司          | 千屋小        | 石川三紀恵  | 思誠小   |
| 19 津 山          | 横川 尚史 | 東小    | 藤木 裕也 | 北小   | 福木 一仁          | 加茂小        | 中島佳奈子  | 西小    |
| 20 苫 田          | 桑田 治  | 鶴喜小   | 牧 雄一  | 奥津小  | 小松原吉晃          | 南小         | 小松原吉晃  | 南小    |
| 21 久 米          | 長子谷幸一 | 弓削小   | 清友 信吾 | 柵原東小 | 神田 寛           | 柵原西小       | 花谷 陸   | 旭小    |
| 22 真 庭          | 坂江 至  | 勝山小   | 菱川 皓太 | 木山小  | 春木 麻菜          | 川上小        | 山田 望   | 美川小   |
| 23 美作・勝田<br>・美田 | 友保 顕裕 | 勝間田小  | 内藤 優一 | 勝田小  | 石原 直人          | 江見小        | 岡本 直樹  | 勝央北   |



— 県小体連関係連絡先 —

○事務局 〒701-0145 岡山市北区今保243-3  
岡山市立御南小学校  
TEL(086)243-2461 FAX(086)243-2462

|         |         |
|---------|---------|
| 会 長     | 小 川 泰 永 |
| 理 事 長   | 松 本 年 永 |
| 副 理 事 長 | 長 田 敏 彰 |
| 〃       | 合 田 典 生 |
| 会 計     | 西 田 真 悟 |

○副読本のお問い合わせ  
岡山市立岡南小学校 森 下 賢  
〒700-0866 岡山市北区岡南町三丁目4-5  
TEL(086)225-3526 FAX(086)225-3527

○岡山県小学校体育連盟公式HP  
<https://shoutairen.com/>

